

# タイル・衛生陶器のツヤありコーティング

[名称] DBC-1000 (デービーシー・セン) [液性] 中性 [外観] 透明～淡黄色液体

[成分] コロイド系シリコン、溶剤

[標準的な塗布量] 1㎡/10g (ただし吸水しない場合。)

[取扱い] 火気厳禁 (危険物第4類, 第1石油類, 危険等級Ⅱ)

[用途] タイル、衛生陶器、の保護ツヤ出し

[特長] ●塗布するだけで光沢のある硬度9Hの硬質透明皮膜を形成する。●薬品類に強く長期間皮膜を持続する。

●常温で作業が可能で比較的簡便に仕上がる。

[使用するもの]

ハケ、均質なキッチンペーパー類、軟らかく薄い布 (保水力が大きいタイプのものは避ける。)

[塗布するときの注意点]

- 原液を使用すること。●塗布面に水分が存在しないこと。●火気付近での使用厳禁。
- 塗布面以外の四隅にはマスキングすること。●半乾燥するまでに最低数時間を要することを考慮に入れて作業をすること。
- こぼさないように慎重に取扱うこと。本剤が接触すると拭き取っても模様が残ることがある。
- ムラになったまま放置すると硬化後は修正できない。硬化がはじまる数分以内に修正すること。
- 硬化後の剥離は困難であるため塗布前にテストすること。
- 表面処理がザラザラしていて本液の吸い込みが著しいときは2、3回の重ね塗りが必要。

[塗布手順]

1. 対象物の汚れは予め除去しておくこと。
2. 対象物の水分・水滴は拭き取り完全乾燥しておくこと。
3. 光沢が残っている外周部位はマスキングテープで覆い隠し塗布しないこと。
4. 柔らかい布又はハケ、キッチンペーパーで一回で薄くのせるイメージで均一に塗布する。(ゴシゴシこすらないこと。)
5. 余分な本液は乾いたペーパーで軽く拭き取るようになぞり調整する。
6. 約5～10分以降徐々に硬化がはじまるので触れたりホコリが接触しないよう注意すること。
7. 最短1時間程度で水を流せるようになるが、約6時間ないし一昼夜程度さらに乾燥する。

※50%硬化まで48時間、90%硬化まで96時間以上。完全硬化まで200時間程度必要。

※重ね塗りするときは1～2時間乾燥後に再塗布すること。

[一般的な注意点]

- 本剤は用途以外に使用しないこと。●火気の付近で使用しないこと。●作業時はビニル等手袋を着用すること。●使用済みの本剤が接触した布、紙類は火気の付近に捨てないこと。●本剤は希釈することができない。●数時間程度は水または水分に接触させないこと。
- 塗布後の硬化皮膜は剥離することが困難である。●事後のメンテナンスには軟らかいスポンジ類と中性洗剤を使用すること。
- 本剤がしみこんだハケ、不織布類を火気付近に捨てないこと。●使用済みの本剤は元の容器に戻さないこと。●換気の悪い室内や狭い場所では長時間の作業を避けること。●本剤が皮膚に接触したときはすぐに石鹸で十分に洗い流すこと。●目に入らないよう注意すること。●冷暗所に容器を密閉して保管する。●新しい衛生陶器には親水性ほ保護剤アクセラガードを使用して下さい。

[荷姿] 500ml×6缶

\*安定した硬質保護皮膜を形成するには表面状態をイメージし微細な凹凸を埋めるまたはふさぐ感覚で作業を行って下さい。

\*本剤は徐々に硬化する性質がありますので塗布時に水分があると硬質皮膜が形成されません。

\*一回の塗布作業で光沢が出ないときは1時間経過後に再度薄く塗布して下さい。

\*本剤を厚く塗ると乾燥後の皮膜にひび割れや剥離を生じる結果となる可能性があります。

\*本剤を塗布後に形成される硬質皮膜は完全な無機質(SiO2)皮膜が形成されます。

\*硬化後の剥離には1000番前後の耐水ペーパーが必要です。

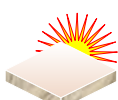
## DBC1000



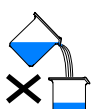
テスト塗布



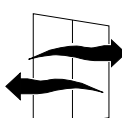
キッチンペーパー



光沢回復



希釈不可



換気



火気厳禁

火気厳禁
第四類 第一石油類
危険等級 2



衛生陶器

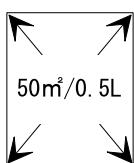


タイル・石材

下記は衛生陶器の一例です。床タイルにも塗布できます。



0.5L 金属缶



標準面積



1.塗布準備



2.うすく丁寧に



3.ムラは拭き取る



4.完成

製品内容は改良の為予告せずに変更されることがあります

お問い合わせは



**PASHICA** パシカ有限公司

TEL(03)5761-8571 FAX(03)5761-8572

〒201-0012 東京都柏江市中和泉5-6-20

URL: <http://www.pashica.jp/>

mail: [hello@pashica.jp](mailto:hello@pashica.jp)

opteron/hdamb/20140408